

## 道東地域<sup>1</sup>の金融経済概況

### 【全体感】

道東地域の景気は、東日本大震災の影響による下押し圧力が和らぐ中で、持ち直しの動きが続いている。この間、企業の景況感は改善している。

すなわち、個人消費は、震災の影響が和らぐ中で、持ち直している。設備投資は、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しの動きが続いている。一方、公共投資は、弱めの動きとなっている。住宅投資は、月々の振れを伴いながら、弱めの動きを示している。生産は、足もと強めの動きがみられる。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、弱めの動きとなっている。

9月の公共工事請負金額は、2か月振りに前年を下回った。

設備投資は、持ち直しつつある。

主要企業の11年度の設備投資計画は、食料品など広範な業種で投資額の積み増しがみられるなど、持ち直しつつある。

個人消費は、震災の影響が和らぐ中で、持ち直している。

主要小売店の売上高は、競争激化に伴う販売価格の下落や気温の低下もあって減少した。耐久消費財では、家電販売がテレビの買換え需要の反動から減少したものの、自動車販売が震災後の供給制約の緩和から引続き持ち直している。こうした中、震災の影響から大きく落ち込んだ旅行・観光関連では、道内外からの観光客の入込みが持ち直している。

住宅投資は、月々の振れを伴いながら、弱めの動きを示している。

8月の新設住宅着工戸数は、貸家に加え持家も減少したことから、3か月振りに前年を下回った。

---

<sup>1</sup> 道東地域とは、当店の業務区域（釧路、帯広、根室の3市および釧路・十勝総合振興局、根室振興局の所管区域）を指す。

## 2. 生産

生産は、足もと強めの動きがみられる。

主要業種の動向をみると、製紙では、在庫積み増しや他工場からの生産移管から増産となった。水産加工では、サンマの豊漁などから増産となっている。製材品では、震災後落ち込んでいた需要が回復していることなどから増産となった。乳製品は、生乳生産の回復や生乳の道外移出減少から、増産となった。

## 3. 雇用

雇用情勢は、持ち直しの動きが続いている。

8月の有効求人倍率は、医療・福祉、情報通信業を中心とした新規求人数の増加などから、22か月連続で前年を上回った。

## 4. 企業倒産

企業倒産は、増加している。

9月は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

## 5. 金融情勢

預金残高は、流動性預金を中心に増加している。

貸出残高は、企業の資金需要の弱さを背景に減少している。

貸出金利は、信金、銀行ともに幾分低下している。

以 上